

この質疑応答録は、2020年1月30日(木)に開催したアナリスト、ファンスマネージャー向け決算説明会にて、ご参加の皆様からいただいた質問とその回答の概要です。

■インダストリアル機器部門について

質問 1

コンクリート構造物向け工具の第3四半期の実績について教えて下さい。

回答 1

コンクリート構造物向け工具の第3四半期の実績は38億円。国内11億円、海外が27億円となりました。数量ベースで申し上げると、国内は横ばい、海外は20%増加しています。

また第3四半期において、商品群のとらえ方を見直したため、今期のとらえ方に合わせ前年の数字を見直しましたので、改めてお伝えします。前年第1四半期が35億円、第2四半期が36億円、第3四半期が35億円、第4四半期が31億円です。

質問 2

コンクリート構造物向け工具の実績は、北米と欧洲どちらが伸びていますか。

また、欧洲は第2四半期で伸び率が鈍化していましたが、第3四半期ではいかがでしたか。

回答 2

どちらも伸びていますが、北米の方がより伸びています。

また、欧洲の実績は、数量ベースでみると第2四半期よりも伸びています。

質問 3

コンクリート構造物向け工具の機械と消耗品の伸び率を教えてください。

回答 3

国内外含めての第3四半期は、数量ベースでみると機械は前年並み、消耗品は約20%の伸び率です。日本国内の機械実績は消費増税の影響もあり、マイナスとなりました。

質問 4

土木市場の開拓状況について教えてください。

回答 4

11月に発売した太い鉄筋向けの新製品は、国内において、販売計画を大きく上回っております。発売から2か月、国内では建築、土木市場へ販売されています。海外ではクリスマス休暇の影響により、販売ルートへの配荷が中心となっており、ユーザーへの販売は第4四半期から伸びていくと考えています。

質問 5

第4四半期の数字は従来計画を据え置かれたという見方でよいでしょうか。

回答 5

そのとおりです。

■オフィス機器部門について

質問 6

アジア向け文具の回復の兆しはいかがでしょうか。

回答 6

中国の影響を考えると、今期中の回復は難しいと考えております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する内容は、当社が1月30日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。